1．救助の総括

① 活動概要

令和7年中（令和7年１月１日～令和7年１２月３１日）における救助活動概要は、出動件数130件、活動件数99件、救助人員104人となっている。

② 事故種別状況

救助出動件数を事故種別ごとに見てみると、最も多いのが建物等による事故６８件、次にその他の事故２６件、以下交通事故２１件、水難事故７件、ガス及び酸欠事故５件、機械による事故２件、火災１件となっている。

（事故種別の凡例）

１．火　　災

火災現場において直接火災に起因して生じた事故をいう。

２．交通事故

全ての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者が交通機関に接触したこと等による事故をいう。

３．水難事故

水泳中の溺者又は水中転落等による事故をいう。

４．風水害等自然災害事故

暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地すべりその他の異常な自然現象に起因する災害による事故をいう。

５．機械による事故

エレベーター、プレス機械、ベルトコンベアその他の建設機械、工作機械等による事故をいう。

６．建物等による事故

建物、門、柵、へい等建物に付帯する施設又はこれらに類する工作物の倒壊による事故、建物等内に閉じ込められる事故、建物等に挟まれる事故等をいう。

７．ガス及び酸欠事故

一酸化炭素中毒その他のガス中毒事故、酸素欠乏による事故等をいう。

８．破裂事故

火災事故以外のボイラー、ボンベ等の物理的破裂による事故をいう。

９．その他の事故

※　１．から８．に掲げる事故以外の事故で、消防機関による救助を必要としたものをいう。